

帰路

宮地浩子

会うようになって
どのくらいになるだろう
老いた雄のラブラドール

今日は
いつも振ってくれる尻尾が
砂埃をおこさない
頭を撫ぜても伏せたまま

冬の空は冷たく澄んで
ひと足ごとに
覚悟していく

ああ しかし
帰路には

下る向こうに
前足を揃えて
座った犬が
わたしを見つけ
砂埃をおこして

空は
衰えた犬も
はずまない心で歩いた女も
つつみこんで

高く
青い